

1. 調査報告概要表

作成日 平成20年2月21日

[認知症対応型共同生活介護用]

【評価実施概要】

事業所番号	2773600446
法人名	有限会社 エヌケイカンパニー
事業所名	グループホームさくら
所在地	交野市妙見坂7丁目6番9号 (電話) 072-810-2605

評価機関名	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会
所在地	大阪市中央区中寺1-1-54 大阪社会福祉指導センター内
訪問調査日	平成20年1月31日

【情報提供票より】(平成19年12月31日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成15年2月1日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	6人
職員数	9人	常勤	3人, 非常勤 6人, 常勤換算 5.2人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	2階建ての	1階	～ 2階部分

(3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	42,000円	その他の経費(月額)	20,000円	
敷金	有() 円 <input checked="" type="checkbox"/> 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	<input checked="" type="checkbox"/> (200,000円)	有りの場合 償却の有無	有 / <input checked="" type="checkbox"/> 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,367円			

(4) 利用者の概要 (平成19年12月31日現在)

利用者人数	5名	男性	5名	女性	0名
要介護1	0名	要介護2	1名		
要介護3	3名	要介護4	1名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 78歳	最低	67歳	最高	94歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	交野病院、西本内科医院
---------	-------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

経営者は地域に密着した介護サービスの実現をめざし、小規模なグループホームの良さを発揮して、きめ細やかなサービスを提供しています。「入居者がわが家のように、自分らしく、地域の中で理解され、人としての尊厳を持って暮らせる」ホームを実現するために「団欒」を運営理念の標語として掲げ、利用者支援に取り組んでいます。玄関のドアを開け、近所の方がいつでも気軽に訪ねてもらえるような雰囲気作りに努めています。医療と連携して極力薬を使わない支援に努め、デイケアを導入し、嗜好品の自由や、犬を飼い動物とのふれあいを楽しむなどの支援をしています。また、地域のグループホーム同業者ネットワーク作りに取り組み、行政と連携して推進役を果たしています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連科目:外部4) 管理者は外部評価結果を職員に知らせ、改善に取り組んでいます。前回評価での改善課題は3項目ありました。この1年間で改善した項目は①音の大きさへの配慮②研修資料の保管管理についての2項目です。課題については管理者、職員が協力して改善に取り組んでいます。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 今回の外部評価日程については事前に職員へ知らせ説明をしています。自己評価票の作成に当たっては職員の意見を聞いてまとめていますが、話し合いや取り組みの経過を会議録等に記載していません。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議での主な内容は1)ホーム運営についての説明や施設案内2)参加者の質疑応答です。質疑応答では①会議開催主旨はなにか②会議の開催頻度はどうするのか③利用者の買い物はどのようにしているか④睡眠についての支援はどのようにしているかなどです。意見や要望が出されたらできるだけ早くホーム運営に反映するように心がけています。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 月1回は請求書や利用者についての連絡事項を家族へ送付しています。また家族が来られたら、利用者の暮らしぶりや健康状態を報告しています。利用者の金銭管理についてはコンピューター管理をしていますが、家族がおられないという理由で金銭管理状況についての家族了承サインが得られない場合は、行政担当者に管理状況の閲覧を依頼しています。運営推進会議への家族参加を求め、出席された家族には発言の機会を設けています。また、出された意見についてはケアプランやホーム運営に反映しています。
重点項目③	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 周辺の民家と同じように一軒の家として利用者の表札を掛け生活しています。近隣からはお土産を頂いたり、挨拶を交わしたりの交流があります。ホームの前が学童の集合場所になっており、子どもたちと利用者が交流することもあります。ホームで自治会に加入し行事等に参加していますが、来年度は自治会班長として地域行事企画にも参加する予定です。

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	管理者は「団欒」を運営理念の標語として掲げ、地域の中で利用者が家庭的な暮らしを続けられるように職員と共に支援しています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	運営理念は玄関に掲示し、職員間で共有しています。また、理念を具体化して月間目標として設定し日々のサービスに活かすよう取り組んでいます。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに務めている	周辺の民家と同じように一軒の家として利用者の表札を掛け生活しています。近隣からはお土産を頂いたり、挨拶を交わしたりの交流があります。ホームの前が学童の集合場所になっており、子どもたちと利用者が交流することもあります。ホームで自治会に加入し行事等に参加していますが、来年度は自治会班長として地域行事企画にも参加する予定です。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者は外部評価結果を職員に知らせ改善に取り組んでいます。自己評価票の作成に当たっては職員の意見を聞いてまとめていますが、話し合いや取り組みの経過を会議録等に記載していません。	○	改善の取り組みについては記録に残し職員間で共有することが求められます。
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は昨年11月に初回開催をしています。実施についての簡単な取り決めをしています。開催頻度については行政のアドバイスを受け概ね3か月に1回実施予定としています。しかし開催回数については年間概ね6回という基準が設定されているのを考慮し、今後の課題として検討する予定です。会議で出された意見はサービス向上に活かすよう取り組んでいます。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会づくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	グループホーム同業者ネットワーク作りとネットワーク会議開催準備、研修への意見具申など市役所および地域包括支援センターとの連携を密にしています。また、ホーム間の空室情報交換などに積極的に取り組んでいます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月1回は請求書や利用者についての連絡事項を家族へ送付しています。また、家族が来られたら、口頭で利用者の暮らしぶりや健康状態などを報告しています。利用者の金銭管理についてはコンピュータ管理をしていますが、一部の利用者を除いては家族がおられないという理由で金銭管理内容についての家族了承サインがありませんが、家族の代行として行政担当者に閲覧を依頼しています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族が来られたら十分に意見を聞く時間を設けています。運営推進会議への家族参加を求め、出席された家族には発言の機会を設けています。出された意見はケアプランやホーム運営に反映しています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	管理者の定年による交代がありましたが、馴染みの職員が管理者を引き継ぎ、交代についての影響を少なくするような配慮をしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年6回の外部研修を受講し、受講リストを作成しています。外部研修の受講内容については職員間で報告を行い共有しています。研修記録の一部が、研修受講者本人が保管しているという理由で確認できないものがありました。今後は研修記録を統一し、ホームで保管することが望まれます。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域の同業者ネットワークをつくり、各ホームの空室情報交換など相互協力関係を深めています。行政の助言を得ながらネットワーク会議を開催するための準備会を立ち上げ、要綱などの作成に取り組んでいます。全国レベル、大阪府下対象のネットワークには加入していません。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前の見学や入居時の面接などには、本人と家族と一緒に来られるように勧めています。仮入居を勧め、利用者が徐々に馴染んで納得して入居されるように配慮しています。家族のおられない利用者についてはやむを得ず即入居される場合がありますが、できるだけ配慮をしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学び支えあう関係を築いている	囲碁将棋、懐メロの歌詞、慣習など利用者の得意なことを教えてもらうことも多くあります。誕生日を祝ったり、敬老の日には長寿を喜んだり、共に学び支えあう関係があります。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者一人ひとりの好みを尊重し、嫌いなおかずの場合は代替りのものを用意したり、ティータイムには好みの飲み物をそれぞれ準備したりしています。ケアプラン作成時には本人の意向を聞き進めています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画作成時や、見直し時にはアセスメントを行い、ケアプラン会議を開いて、利用者や家族の意見を反映した介護計画書を作成しています。介護計画書は見やすい場所に置き職員間で共有していますが、一部職員の共有サインが無いものがあります。今後は職員全員の確認サインが望まれます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画書の見直しは6か月毎に行なっています。モニタリングを行い現状に即してプラン修正をするなど細やかな配慮をしています。その他、必要時には随時見直しを行なっています。介護計画書は家族へ説明して了承を得ていますがサインをもらっていません。	○	介護計画書には家族の了承サインが求められます。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援（事業所及び法人関連事業の多機能性の活用）					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	専門医への送迎を含め受診支援を行なっています。また、医療保険適応によるデイケアが受けられるよう医療との連携を密にしています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援の協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られた、かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者がそれぞれ希望するかかりつけの医療機関で、引き続き医療が受けられるように支援しています。家族の都合が付かない場合や必要時には受診に付き添い、適切な医療が受けられるように支援しています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期の対応については本人や家族の希望を尊重し、最後までホームで支援する方針を明確にしています。しかし、入院等が必要な場合の判断については医師の指示に従っています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は利用者の誇りやプライバシーを尊重した対応を心がけています。利用者の記録等の保管は慎重にしています。ホーム職員採用時の契約書には利用者の個人情報保護を義務付ける文面があり、職員に主旨を徹底しています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の希望に添った暮らしの支援をしています。居間で過ごす、自室で過ごすなど、それぞれの思いが尊重されています。希望を表現しにくい利用者については表情やしぐさなどから積極的に意向を汲み取るように努めています。また嗜好品が味わえる支援をしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食材は生協などからの配送を活用していますが、不足分については職員と利用者で買い物に出かけることもあります。利用者は全員が男性であり調理への参加希望は少ないことから、好みの食材や献立を提案する、味見をする、後片付けに参加することなどで食事を楽しんでいます。利用者に好みの弁当を選んでもらい発注する、回転寿司など外食に出かけ楽しむなどの支援もしています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週2回の入浴日を決めていますが、結果的には清潔を保つためにシャワーをするなど週3回の入浴になっている方もおられます。希望される場合には予定日以外でも入浴できます。今後は週3回の入浴支援が定着することが望まれます。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	将棋をする、テレビで時代劇を観る、外食に出かける、散歩をする、公園で児童とふれあう、デイケアに行くなど、それぞれに楽しみ事は違いますが、利用者の希望に添った支援に努めています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者全員が週3回デイケアに通っています。散歩や外出に出かけるなど、外へ出る機会を設けるよう努力しています。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中はホーム玄関に鍵をかけていません。利用者が外へ出られる場合には職員が必ず見守り、サポートしています。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防防災避難訓練は年2回実施し、そのうち1回は消防署の協力を得ています。具体的な避難経路を確認し、利用者誘導を想定した訓練を行なっています。災害対策用としての備蓄は行なっていませんが、若干の食料品や水は確保しています。	○	災害対策用として、ホーム内に食料品、飲料水の備蓄が求められます。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量は三食ともに把握し、水分摂取量は一日を通して把握し記録しています。また排泄回数との関係から水分不足を把握する視点も持っています。栄養バランスについては提携する医療機関に相談し、助言を得ています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	食堂兼居間を中心にくつろげる場所を設けています。不快な音や気になる光等はありません。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	清潔感のある居室環境が整えられています。利用者は室内にイス、タンス、衣装ケース、時計、仏壇など馴染みの家具を置いて過ごされています。利用者がいつでも自室で落ち着けるように冷暖房の調整も適切にしています。		